

# 平成 29 年度予算総括質疑の概要

平成 29 年第 1 回二宮町議会定例会

日時：平成 29 年 3 月 8 日（水） 午前 9 時 30 分より

No.	質問議員	質問の概要
1	野地 洋正議員	<p>29 年度予算（案）総額は、15,607,403 千円と対前年度より 95,052 千円、0.6%の増である一方、一般会計は 54,000 千円、0.7%減の 7,676,000 千円となった。</p> <p>特別会計については、主に医療費負担の増大という社会情勢に帰する部分も多く、町単独で施策、事業の増減が困難とされる部分もあるが、一般会計事業は、町民サービスはもとより「二宮の姿」を町外にも示す重要な一つの指標、アピールとしても位置付けられる。総合計画、総合戦略の目標達成、町民サービスの維持・向上を図るために、収入を増やし支出を抑える対策を同時かつ早期に、それも部署横断的に行う必要がある。</p> <p>重点施策とされる二宮町総合戦略の 4 つの基本方針に沿って考えを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設再配置・町有地有効活用等検討の進捗、計画、目標について</li> </ul> </li> <li>2、「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ にのみや Life の提案と発信、空き家対策と住環境の整備について</li> </ul> </li> <li>3、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て世代への支援、仕事の両立の推進について</li> </ul> </li> <li>4、「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創業支援、雇用の創出、資金の循環について</li> </ul> </li> </ol>
2	渡辺 訓任議員	<p>平成 29 年度予算案および施政方針について以下の点について所見を問う。</p> <p>①昨年度の下水道使用料金引き上げに続いて、今年度は国民健康保険税の引き上げを予算案に盛り込んでいる。国民健康保険の被保険者は、定年退職者や個人事業主など社会的・経済的に弱い方々を含んでおり、大幅な引き上げは加入者には重い。昨年度、一般会計からの法定外繰り入れであった葬祭費について国民健康保険特別会計負担とし、二宮町では一般会計からの法定外繰り入れがゼロになった。加入者の負担を軽減、さらに近隣自治体との水準の均衡を保つため、一般会計からの政策的な繰り入れは一つの方法であると思うがこの点をどう考えるか。</p> <p>②活気のあるまちづくりには経済の活性化が必要である。そのためには町内もしくは地域で経済循環を良くすることが重要であると考え。総合戦略基本目標の 4 つめに「町で安心して働き仕事を生み出しやすい環境をつくる」を挙げているが、一定規模のまとまった雇用を生み出すことが難しいとの認識のもとで、再生エネルギーの事業化、未病改善と J O Y カードの合わせての普及などの取り組みでどのような効果を期待しているのか。</p> <p>「安心して働く」もう一つの側面として、働く・働きたい親に対する子育て支援が重要であるが、現在、保育所待機児が生まれているのが実情と認識している。「保育所に預けられないから働けない、働けないから保育所に預けら</p>

2	渡辺 訓任議員	<p>れない」の悪循環が拡大する可能性がある。潜在的待機児の把握、保育所拡充、保育士育成・確保についてどう考えるか。</p> <p>さらに、働き方改革に関心が集まるなか、施政方針に「町の職場環境など働き方の改善」について触れられている。改善の内容として具体的にはどのような点を想定されているのか。</p> <p>③今年度は、公共施設再配置・町有地有効活用実施計画策定に予算を計上しているが、東大果樹園跡地の利用方法や町役場庁舎の耐震性など、この件について関心を寄せる町民は少なくない。</p> <p>公共施設は、全町的な施設と地区・地域住民が主体となって利用するものに分かれる。地域に目を向けると、地域包括ケアシステムおよび協議体、地区社協、防災に関連して防災会議の設定や避難所運営、コミュニティスクールが設置された場合の運営委員会など、地区に依拠する活動が多々あるが、地区単独、一つか複数の地区、学校を中心など組織が違えば切り方も違う。これらの単位や機能を今後どうしていくのか、それらの拠点をどう整備するかなどを準備する必要がある。担い手の不足が心配される中で、これまでそれぞれ独自で進められてきたとりくみ・組織と拠点をどう収束していくのか。</p> <p>また、全町的な施設については、ひとところにまとめるという意見と、拠点を分割して拠点間の移動手段を整備するという意見がある。将来のまちづくりの方向性についてはどのように考えているのか。</p> <p>長期財政計画は行革大綱で平成30年の策定予定となっており、実施計画は今年度策定となっている。公共用地再配置実施計画が先行することで齟齬が生じることはないか。</p> <p>④任期中の退職金の廃止について、町長は平成27年9月議会で「組合議会の中でそれぞれの自治体ごとに退職金を変えることができるという一文を入れ、そしてそれを今度、二宮町のほうに持ってくる」方法を紹介している。その後の検討・作業の進捗状況と見通しはどうか。</p>
3	一石 洋子議員	<p>子どもたちの教育環境が危惧されて久しく、経済的格差はさらにその悪化を招いている。「生きる力」を掲げても、具体的方策は今だなされていない。高齢化と医療の高度化で健康保険制度の維持の方策も真剣に創出されるべき時代となった。科学技術や資本主義経済の方向性と人間の幸福との乖離がかつてないほど強く浮き彫りになっている。ニーズは高度化、多様化し、ひとの生きる場を支える自治体の取り組みの変革が求められる潮目である。二宮町はこの大きな潮目に、どのような解を持ち、この町に住む、この町が存続する価値をどの様に創造するのか。以下の項目について問う。</p> <p>①子育ての町として誇りを持てる学校教育について</p> <p>②町のユニバーサルデザインの鍵である障がい者福祉の今後について</p> <p>③地域包括ケアシステムの構築と総合事業の実施について</p> <p>④町という自治体に相応しい住民自治の形について</p>

4	前田憲一郎議員	<p>平成 29 年度の当初予算編成状況を見ると、一般会計において歳入予算額は、平成 28 年度当初予算 7,730,000 千円より 54,000 千円マイナス、前年比マイナス 0.7%の 7,676,000 千円となり、非常に厳しい財政状況におかれている中で、大変な苦心に苦心を重ね合わせた上での予算編成であるということは十二分に評価できる点ではあります。村田町長は、平成 26 年第 4 回二宮町議会定例会の冒頭での所信表明で 3 つの施策を表明されたが、その 1 つ目に人口減少・高齢化が進む時代に合ったまちづくりとして、「町の財政をゼロから」見直します。と述べています。また、平成 29 年度当初予算編成方針を見ると、第 5 次二宮町総合計画中期基本計画の 2 年目となることから、前期基本計画期間中の行政評価結果並びに平成 31 年度までが計画期間となる二宮町総合戦略の方向性、第 4 次二宮町行政改革大綱を踏まえ、各事業の内容についても留意することとします。とされており、町民に対して十分な説明責任を果たしていきま。とあり、町民に対し透明感のある予算編成をうたっています。ポイントとして「ずっと住み続けたいまちづくり」を進めるために、重点施策として総合戦略に係る施策・プロジェクトがあげられていますが、次の点について答弁をお願いします。</p> <p>①村田町長の公約である「町の財政をゼロから」見直しですが、どのような観点で見直しをされたのか。お伺いします。</p> <p>②町民に対し透明感のある予算編成をうたい、十分な説明責任を果たしていきま。とあり、ホームページはただ単に各課の要求額、一次査定、二次査定等の金額が記載されていただけです。このような内容での公表で町民側から見て、透明感のある説明責任を十分に果たされていると町長は思いですか。お伺いします。</p> <p>③予算説明資料のポイント「ずっと住み続けたいまちづくり」の中にあげられている特色ある学校づくりに取り組むとともに、児童・生徒の学習環境を整備します。とあり、その中で、コミュニティスクール導入に向けた準備、小中一貫校の導入に向けた検討が取り上げられています。そこで今までの検討過程の進捗状況を伺いたい。小中学校特別教室への冷暖房設備の整備とありますが、別教室への冷暖房設備の整備とあり、今後、学校再編の検討と合わせ、どのように導入を進めて行こうと考えているのかをお伺いします。</p> <p>④平成 28 年度の地区要望を見ると、総件数 158 件のうち都市整備課 77 件で最も多く、次に防災安全課 44 件と伺っています。地区要望に対する予算付けはできているのか。「ずっと住み続けたいまちづくり」のためには地区からの要望を大切にすることがあると思うがどう考えているのかお伺いします。</p> <p>⑤毎年度、多額の執行残不用額がでている。多少の不用額がでるのはやむを得ないことだとは思いますが、多額の執行残不用額が毎年度でてくるのか。予算編成の段階で編成の方式に問題点があるのではないかと思う。この点についてわかりやすい細やかな説明をお伺いします。以上 5 件町長より具体的な答弁をお願いします。</p>
---	---------	---

備考：2 番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。  
本人の通告書の原稿を転記したものです。